安全報告書



KSEI

北総鉄道株式会社 Hokuso-Railway Co.,Ltd.

十某ニュータワン跃迫株式会社 Chiba Newtown Railway Co,Ltd.

安全報告書2018目 次

1. ご	『利用の皆様へ ————————	<u>1</u>
2. 路	線図・成田スカイアクセス分界概要 ——————	2
	2-1 路線図	
	2-2 成田スカイアクセス分界	
3. 安	·全に関する基本方針·安全重点施策 ————————————————————————————————————	3
	3-1 安全に関する基本方針	
	3-2 安全重点施策	
4. 安	全管理体制と安全管理方法 ————————————————————————————————————	5
	4-1 安全管理体制	
	4-2 安全管理方法	
5. 安	·全対策の実施状況 ————————————————————————————————————	1 2
	5-1 安全対策のための投資実績と計画	
	5-2 安全確保のための措置(設備)	
	5−3 駅の安全対策	
	5-4 車両の安全対策	
	5-5 施設の安全対策 5-6 その他の安全対策	
	5-6 その他の安全対策	
6.事	故等の発生状況	23
7. お	8客様へのお願い	23
8. 当	i社の安全への取組みに対するご意見募集 ——————	2 4
(注)	報告書の記載内容のうち特に会社名が明記されてない事項については、	北総鉄道と

千葉ニュータウン鉄道が一体となり取り組んできた内容となっています。

1. ご利用の皆様へ



第1種及び第2種鉄道事業者 北総鉄道株式会社 取締役社長 室谷 正裕

平素より北総鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社は、「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供する」との京成グループの経営理念の下、輸送の安全の確保を最大の使命と認識し日々業務に取組み、健全な事業運営と社会の発展に貢献することに努めております。

2017 年度は全社員一丸となって安全運行に努めた結果、1979 年の開業以来 39 年間の無事故運転を継続することができました。今後もこれに気を緩めることなく第3種鉄道事業者である千葉ニュータウン鉄道とも協力して、更なる安全管理体制の強化に注力してまいります。

また、首都直下地震等の大規模地震に備え、2006 年度より実施しておりました鉄道土木構造物の耐震補強工事を完了させました。このほか、各駅ホームに設置してあります非常通報装置を、走行中の列車に自動的に非常ブレーキがかかる「列車非常停止装置」に全て改良し、安全・安心な鉄道を目指しているところです。

今後も、お客様に北総鉄道を安心してご利用いただけるよう、安全・安定輸送サービスの向上に 全力を傾注してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、2017 年度の当社における輸送の安全確保のための具体的な 取組みについて、お客様のご理解をいただくために作成したものです。是非、ご一読いただき、皆 様の率直なご意見等をお聞かせ下さいますようお願い申し上げます。

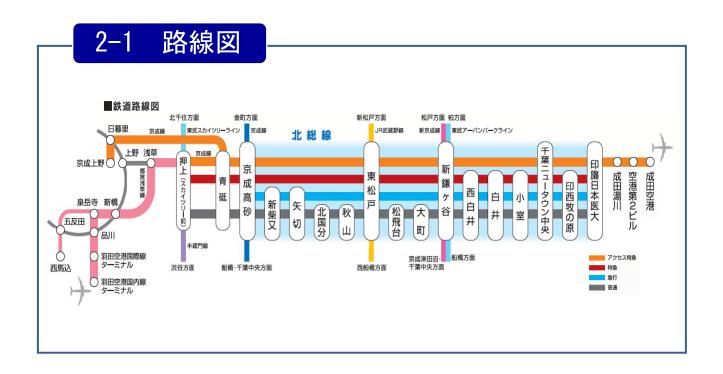
> 第3種鉄道事業者 千葉ニュータウン鉄道株式会社 取締役社長 室谷 正裕

平素より千葉ニュータウン鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、北総線の小室駅~印旛日本医大駅間 12.5 %の鉄道施設と 40 両の車両を保有する第3種鉄道事業者であり、第2種鉄道事業者である北総鉄道に鉄道施設と車両を賃貸いたしております。

また、当社は京成グループの一員として、「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供する」との京成グループの経営理念の下、京成グループ行動指針に掲げる「安全・安心を第一に行動する」ことを踏まえ、事業運営にあたっております。今後ともお客様に安全・安心、そして快適にご利用いただけるよう、北総鉄道との連携を強化し、鉄道諸設備の適切な維持管理に努め、輸送の安全確保に取り組んでまいります。

2. 路線図・成田スカイアクセス分界概要



— 2-2 F	グト	ц // //	1	, , ,		ス分界					
	京成上野駅		京成高砂駅		小室駅		印旛日本医大駅		分界点		成田空港
				19. 8km		12. 5km		10. 7km		8. 4km	
第1種鉄道事業者 (運送+財産)		京成電鉄		北総鉄道 ※							
第2種鉄道事業者						北総鉄道					
(運送)				京成電鉄(成田スカイアクセス)							
第3種鉄道事業者 (財産)						千葉ニュー タウン鉄道		成田高速鉄道 アクセス	道	成田空港 高速鉄道	
運行管理業務		京成電鉄		北総鉄道			京成電鉄				
保守業務		京成電鉄		北総鉄道			京成電鉄				

3. 安全に関する基本方針・安全重点施策

3-1 安全に関する基本方針

お客様に安全・迅速・快適に当社線をご利用いただけるよう、私たちは「京成グループ経営理念」と「京成グループ行動指針」に基づき、安全を最優先とする体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、車両及び社員を総合的に活用して輸送の安全を確保します。

京成グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に 提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

京成グループ行動指針

【安全】 私たちは、安全・安心を第一に行動します。

【接 客】 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。

【成 長】 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。

【企業倫理】 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規定を遵守します。

【環 境】 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

安全方針

安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めます。

- 1. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正・忠実に職務を遂行します。
- 2. 事故・災害等が発生したときは、速やかに安全適切な処置をとります。
- 3. 常に向上心を持ち、必要な工夫・改善に努め、安全且つ快適な環境を提供します。

3-2 安全重点施策

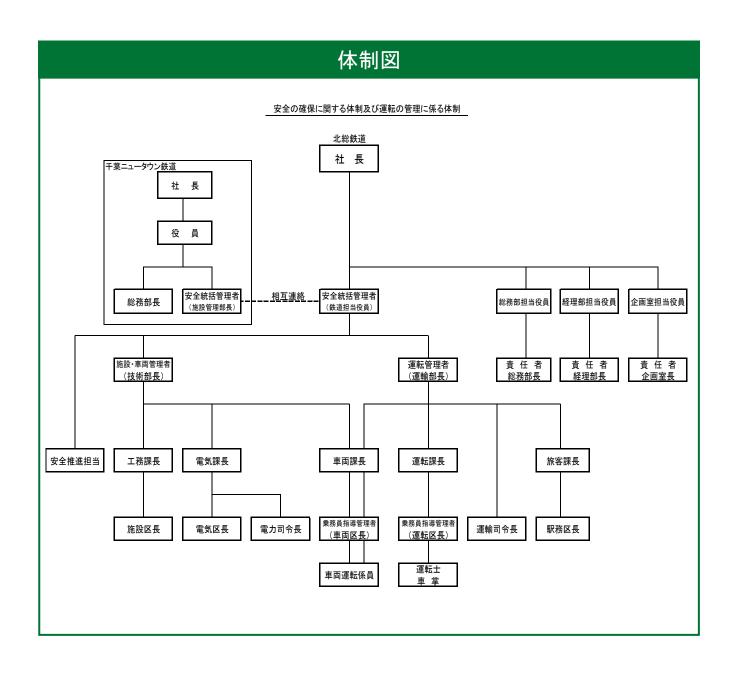
輸送の安全に関する基本方針に基づき、輸送の安全の確保を最優先に鉄道諸設備の整備を推進するとともに、安全に対する取組みや施策の継続的な改善を図り、社内の管理体制と各部門間での意思疎通を強化し、今後とも安全・安定輸送の確保に向け努力してまいります。

- (1) 北総線及び成田スカイアクセスの安全・安定輸送の継続
 - ①京成電鉄との連携の強化
- (2) 安全管理体制の更なる強化
 - ①ヒューマンエラー撲滅への取組み強化
 - ・教育訓練による安全管理に関する意識の向上
 - ・基本動作励行の徹底
 - ・規程類遵守の徹底
 - ・ヒヤリハット情報の収集及び環境の整備
 - ②安全に関する内部監査の充実
 - ③協力会社やご利用のお客様と連携したより安全な鉄道づくり
- (3) 鉄道施設の安全性向上及び老朽化対策の推進
 - ①高架橋等耐震補強工事の着実な実施
 - ②設備、施設の安全性向上及び老朽設備更新計画の推進
- (4) 鉄道テロ行為及び列車妨害行為への対応強化
 - ①巡回・点検等の強化
 - ②関係機関との連絡・連携体制の強化
- (5) 駅ホーム安全対策の推進
 - (1)高速列車通過時のホーム監視の徹底
 - ②駅ホーム安全対策のハード及びソフト対応の推進

4.安全管理体制と安全管理方法

4-1 安全管理体制

当社は 2006 年 10 月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする 安全管理体制を敷いています。なお、成田スカイアクセス開業に伴い、よ り一層の安全管理体制の強化を図るため、2010 年 4 月 1 日より新しい組織 として安全推進担当を設置致しました。現状は以下の通りです。



安全管理者の役割

【北総鉄道】

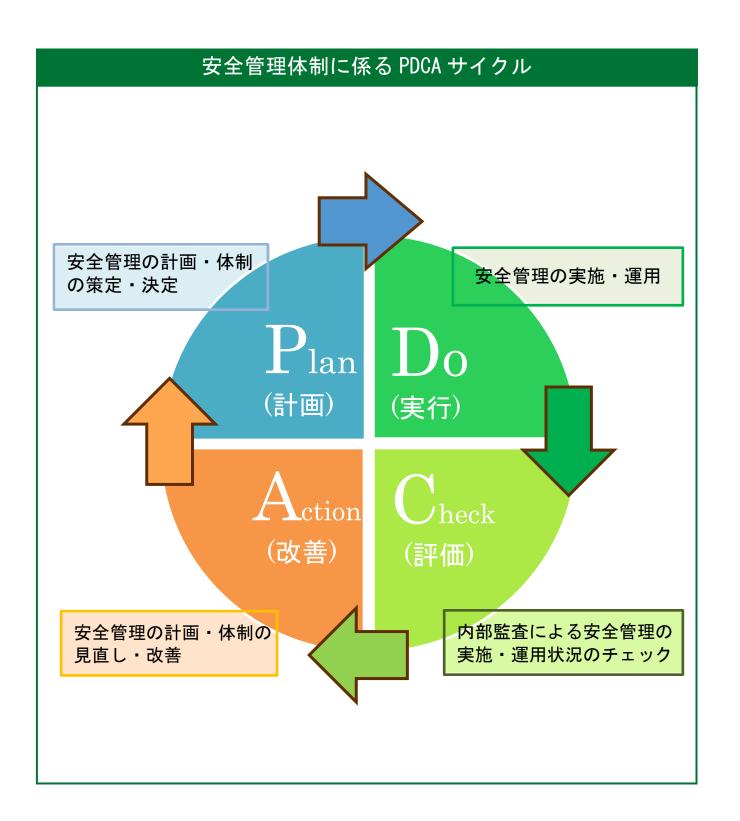
役 職	役割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者 (鉄道担当役員)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者 (運輸部長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者または車両管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持
(運転区長、車両区長)	に関する事項を管理する
施設管理者 (技術部長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する
車両管理者 (技術部長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する
安全推進担当	内部監査を実施し、内容が適切に運営されていることを検証するとともに、安全性向上のための施策を安全統括管理者に提言する
その他必要な責任者 (総務部長、経理部長、企画室長)	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事 項を統括する

【千葉ニュータウン鉄道】

役職	役割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者 (施設管理部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
施設管理部長	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事 項を統括する

4-2 安全管理方法

安全方針及び安全重点施策に基づき、輸送の安全を確保するために様々な会議や運動を実施するとともに、経営トップの意見をはじめとする鉄道の安全に関する情報の共有化を図り、安全管理体制の整備の推進や継続的な「PDCA サイクル」によって随時見直しを行っております。



安全に関する内部監査の実施

日本民営鉄道協会主催の「運輸安全マネジメント内部監査員研修」を修了した監査員による内部監査を毎年継続的に実施し、安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証しています。2017 年度は経営トップ・安全統括管理者・各管理者をはじめ現業部門を中心に一般管理部門に対しても実施しております。

また、内部監査の充実を図るため京成グループの関東鉄道㈱が同席し、監査終了後に 意見交換を行う等、グループ相互の内部監査体制の充実を図っています。



社長へのインタビュー



運輸部現業部門へのインタビュー

安全運動の実施

お客様のご利用が多くなる時期に、春の全国交通安全運動・夏季の輸送安全総点検・ 秋の全国交通安全運動・年末年始輸送安全総点検を設けております。期間中、実施項目 を設定し、輸送の安全を確保するため、各職場にて総点検を実施しております。

社長、安全統括管理者による職場巡視

春の全国交通安全運動・夏季の輸送安全総点検・秋の全国交通安全運動・年末年始輸送安全総点検等の期間中を利用し、社長、安全統括管理者が定期的、または随時に第一線の職場及び作業現場を巡視し、現状を把握するとともに意見交換を通じ安全の確認及び安全意識の高揚を図っております。



社長巡視 (運転区)



安全統括管理者巡視 (雷気区)

安全推進担当

安全推進担当としての立場から見た問題点等について、必要に応じて助言や指導をすることにより改善を図っております。

今年度は防犯対策講習会、運輸安全委員会事故調査官による講演会、技術部係員を 対象とした列車防護訓練及び夜間作業の立会い等を実施しました。



防犯対策講習会



列車防護訓練

安全推進会議

安全推進会議とは、安全統括管理者が主催する会議で毎月開催され、安全に関する様々な議題(事故等の報告・分析及び再発防止策の討議等)を取り上げ、事故等の撲滅を図るべく努めました。また、過去に発生させたインシデントについても毎年強化期間を設定して対策の有効性を確認し、その結果を会議に諮っております。議事録は社長をはじめ各管理者に回覧し、情報を共有しております。



各職場における安全に関する取組み

- 1. 現業長を含む運輸部・技術部会議並びに課内会議(技術部門については現業員を含む)を毎月職場ごとに開催し、現状の把握・情報の共有及び示達事項の徹底等を図りました。
- 2. 運輸部門においては、運転管理者を含む管理職と乗務員代表者との意見交換を行い、情報の共有を図るとともに、他社の研修施設を訪問し安全意識の向上に努めました。
- 3. 技術部門においては年 2 回、夏季の輸送安全総点検及び年末年始輸送安全総点検に合わせ、定期的に社員と協力会社を含めた「安全衛生懇談会」「工事安全推進協力会」を開催し、安全及び衛生に関する事項について周知徹底並びに啓発を図るとともに、横断的に情報交換を行い安全確保に努めました。



乗務員との意見交換会



工事安全推進協力会

安全に関する教育

- 1. 全乗務員に対し、事故や車両故障等を想定した「乗務員集合教育」を机上及び実車 を使用して実施し、異常時に速やかに対応ができるよう知識・技能の保有に努めま した。
- 2. 鉄道事業法で規定されている鉄道従事員に対して必要な知識・技能の保有及び習得 や安全意識の向上を図るため教育を実施したほか、保守・工事の質の向上及び安全 作業の維持向上を目的として請負工事会社の社員を対象に「施工管理者講習会」を 適時実施しました。
- 3. 職種転換時・入社時及び昇進時においては「職能教育」を実施し、その職種・職責 に必要な知識の確保を図りました。
- 4. 外部機関等を利用した研修・講習会に積極的に参加し、また外部機関より講師を招き「安全講演会」・「盲導犬ユーザー等対応講習会」等を開催して、職員の資質及び安全意識の向上に努めました。
- 5. 千葉県警察本部・鎌ケ谷警察と連携し「防犯対策講習会」を開催して、防犯に対する理解と意識の高揚を図りました。
- 6. 「国土交通省運輸安全委員会事故調査官による講演会」を実施し、他社での実際に 発生した事故事例を分析することにより、安全についての理解を深めました。



乗務員集合教育



事故調査官による講演会



盲導犬ユーザー等対応講習会



普通救命講習

●社員の声●

安全推進担当 鳥内 拓哉



安全推進担当では、安全のための訓練・講習会を実施しています。 また、夜間作業の立会いや内部監査も行い、安全のための仕組みが 守られていることを確認しています。鉄道会社で最も重要なものは 「安全」です。鉄道事業者を取り巻く環境には、台風や震災など甚 大な被害をもたらす自然災害やテロなど、多くの脅威が存在します が、私たちにはそういった脅威を予防すること、また、起きた際に は被害を最小限に抑える責務があります。その責務を果たすため、 安全の実現のためには何が必要なのかを常に考えながら業務に励 み、より安全・安心な鉄道会社を目指しています。

異常時の緊急体制

事故及び災害等が発生したとき、または発生のおそれがある場合の緊急措置については「異常時対策規則」に基づき対応します。2017年度は事故等が発生したときの連絡体制及び本部体制等の再確認のため、様々な状況を想定した訓練を実施いたしました。

- 4月24日 列車防護訓練
- 6月14日 矢切駅合同災害対応訓練(亀有警察、松戸警察、松戸消防、松戸市役所と合同で実施)
- 7月21日 北総・京成異常時合同訓練(千葉県警察本部と合同で実施し、スカイライナー車内に て不審物の発火(爆発物)を想定)
- 7月24日 非常召集訓練及び異常時情報伝達訓練
- 9月 1日 防災訓練(大規模地震を想定した予知対応訓練・発災対応訓練・帰宅困難者対応訓練)
- 12月 8日 地下駅における避難誘導訓練(矢切駅)
- 12月21日 異常時対応訓練(印旛車両基地で支障物による脱線、運転士負傷を想定し、消防・警察等と合同)
- 3月11日 列車停止訓練(震災発生を想定、緊急地震速報の自動放送による)

上記のほか各部門において、適時異常時を想定した車両の脱線復旧訓練・情報伝達訓練・非常 召集訓練・電車線断線復旧訓練等を実施いたしました。



7月21日北総・京成異常時合同訓練



12月21日 異常時対応訓練

運転状況の把握と情報発信

日々刻々と変化する運行状況は、運輸指令所でリアルタイムに監視を行っているほか、毎日の運行状況は運転管理者・安全統括管理者を通じて社長まで報告されます。

運行に支障をきたす事象が発生した場合は、関係者への携帯メール配信により周知するとともに、運行情報は当社ホームページや運行情報ディスプレイ(全駅設置)を通じて社外にも配信されます。



メールー括配信システム



運行情報ディスプレイ





運行情報を提供する駅表示板

5. 安全対策の実施状況

5-1 安全対策のための投資実績と計画

安全安定輸送を確保するため、毎年度、下表の通り鉄道事業における安全対策に対して投資を行っています。

単位	(百万円)
+ 12	\ H /J 1/

	2016 年度 (実 績)	2017年度 (実績)	2018 年度 (計 画)
安全対策 に対する 設備投資	1, 409 (193)	766 (162)	1, 238 (338)
耐震補強 に対する 設備投資	1, 433 (107)	1, 637 (110)	* _

- () 内数値は、千葉ニュータウン鉄道投資額内数を示す。
- ※ 耐震補強工事は、2017年度で完了しております。

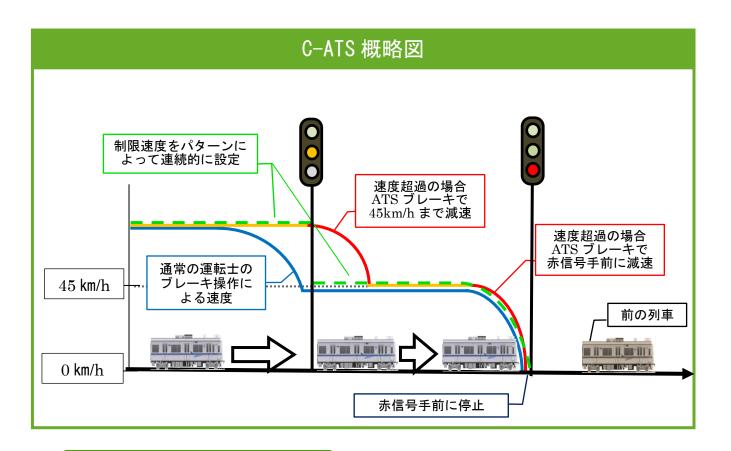
5-2 安全確保のための措置(設備)

当社では輸送の安全確保を目的として、重要度の高いものから順に効果的かつ効率的に設備改良等を実施しています。2017年度においては、

- ・高架橋柱の耐震補強及び橋梁の落下防止並びにトンネル中柱の耐震補強等を実施しました。
- ・老朽化したレールの取替、列車無線設備の更新、高圧ケーブルの張替等を実施しました。

その他日常的に、法令に定められた点検周期や点検項目に基づき、鉄道施設及び車両について所定の機能を維持・発揮できるよう定期的点検及び検査を実施し、安全で 快適な環境を提供するため日夜整備に努めました。

なお、線路巡回等により発見した設備の不備に対してはその都度補修を実施しました。 安全性向上を目的として連動駅 (ポイントのある駅) において、新型の高機能C-A TSを導入しております。



5-3 駅の安全対策

列車非常停止装置

お客様が線路内に転落した時や線路内に障害物を発見した場合等の非常事態が発生した際駅係員のみならず、お客様にホーム上の「非常停止ボタン」を押していただくことによって、乗務員や駅係員に危険を知らせるとともに、近くを走行中の列車に自動的に非常ブレーキがかかるシステムに全 14 駅更新いたしました。これにより事故を防止し、列車の安全運行を図っています。また、お客様から設置位置や使用方法が一目でわかるように、幅広赤白ゼブラテープ・看板及び啓発ポスターでお客様に周知しております。

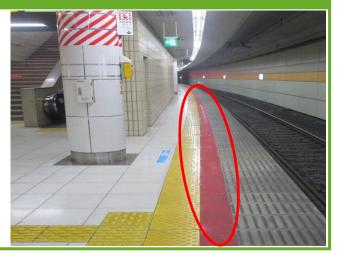






CP (Color Psychology) ライン

お客様に対し、ホームをお歩きの際等に 注意喚起を図るため、警告タイル外側に赤 色の塗装を施した「CP(色彩心理)ライン」 を 2017 年度に新柴又駅、東松戸駅、松飛台 駅、北国分駅、大町駅、新鎌ヶ谷駅、西白 井駅、白井駅、小室駅の 9 駅に設置し、こ れをもって全 14 駅の施工が完了いたしま した。



内方線付き点状ブロック

駅のホームには黄色の点状ブロックが 設置してありますが、目の不自由なお客様 がホームから転落するのを防止するため、 点状ブロックの内側に線状の突起を付け、 ホームの内外が判別できる「内方線付き点 状ブロック」を 2017 年度に新柴又駅、矢切 駅、秋山駅、松飛台駅、北国分駅、大町駅、 印旛日本医大駅の 7 駅に設置し、これをも って全 14 駅の施工が完了いたしました。



車掌用ITV(車掌用監視モニター)

車掌が電車の扉を閉める時に、ホームの安全を確認しやすくするため、「車掌用 ITV」を設置しております。





カラーモニター

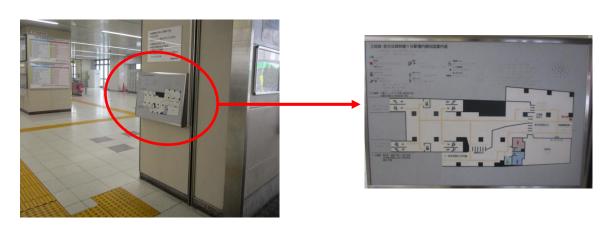
通過列車注意表示

お客様への注意喚起を促すため警戒ラインを駅ホーム狭小部床面に表示するととも に高速列車通過駅の狭小部壁面にも注意喚起板を表示しております。また、必要箇所に 手すりを設置し、高速列車の通過時の安全を図っております。



音声誘導装置等

国土交通省の旅客施設における音声による移動支援方策ガイドラインに基づいて、お客様及び目の不自由なお客様を券売機、改札口、階段、エスカレーター、エレベーター、トイレ等へ音声で案内誘導するための音声誘導装置及び駅構内配置を示した触知図を全 14 駅設置しております。



発車メロディの導入

新柴又駅(『男はつらいよ』のテーマ曲)と矢切駅(矢切の渡し)に発車メロディを 導入し、列車の扉扱いの時機をわかりやすくかつ親しみやすい音楽でご案内しており ます。

地下駅の火災・停電等の対策

地下駅の矢切駅において、非常用発電機・屋内消火栓設備や排煙設備等を設け火災・ 停電等の緊急時対策を行っております。また、2003年に韓国テグ市で発生した地下鉄火 災事故を受け改正された国土交通省令等に基づき、避難誘導体制を確立しております。







防災総合監視盤

誘導経路図

非常用発電機

●社員の声●

旅客課 駅務区 伊東 靖志



私たちは、お客様との接客業務の他に、お客様が安全に安心して駅をご利用いただけるよう定期的に防火用設備・緊急避難用具・運転保安用具の点検・整備を行い、いざという時には迅速な対応を行えるようにするとともに、異常発生時の取扱いを点呼時の小研修、訓練等で再確認し一人一人の対応がお客様の安全に直接つながる事を自覚し安全意識の向上に努めています。また、体の不自由なお客様のお声かけを実践し、お手伝い・見守りを徹底して行い誰もが安心してご利用いただけるよう取り組んでおります。

こども110番の駅

鉄道事業者による全国的な取組みとして、全 14 駅に「こども 1 1 0番の駅」のステッカーを貼付し、何らかの理由により子供が駅に助けを求めてきた場合には保護し、1 1 0番通報を行うなどの体制を整えております。



駅構内の安全対策

駅構内の安全対策として、全駅にモニターカメラ(全 14 駅で総設置台数は 325 台となります)を設置しております。また、駅事務室及び一部は運輸指令所で駅構内の状況をテレビモニターによりリアルタイムに確認でき、記録映像は一定期間保存が可能となっております。機器についてはより高画質(デジタル)のものに順次更新しております。



画像の一例

サービス介助士の資格取得

全てのお客様に優しい鉄道を目指し、サービス介助士(2017年度は6名が取得し、資格保持者は123名となっております)を各駅に配属しております。2018年度も引き続き資格取得を進め、全係員資格の取得を目指してまいります。なお、資格取得者においては胸章下部に表示しております。



施設のバリアフリー化

ご高齢者やお身体の不自由なお客様に快適・安全に駅をご利用いただけるよう、エレベーター及び多機能トイレ等を設置し、 バリアフリー化を積極的に進めております。



AED(自動体外式除細動器)

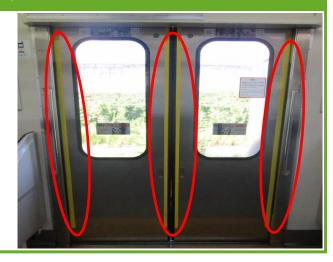
安全に安心してご利用いただける駅を目指し、各駅改札口付近にAEDを全14駅に設置しております。なお、駅係員においては普通救命講習等を受講しており、万が一の際は速やかな対応が取れるようにしております。



5-4 車両の安全対策

乗降扉の注意喚起シール

車両の乗降扉には、引込・挟まりを予防するため、扉の端部に注意喚起テープを貼り、扉の識別を容易にする取組みを実施しております。(2015 年度全編成完了)



車内のバリアフリー

先頭車両には車椅子・ベビーカーをご利用のお客様が混雑時にも利用できる専用スペースを設けております。2017年度は車両増備(1編成)を行い、現在13編成中11編成が対応車となっております。



転落防止用ほろ

車両の連結面間には、お客様がホームから転落されることを防止するため、転落防止用ほろを設置しております。2016年度に、全編成への設置が完了いたしました。



非常通報器

電車内で異常があった場合、乗務員と直接話ができる非常通報器を各車両に設置して おります。



●社員の声●



車両課 車両区 加藤 誠

私達車両区は主に車両の点検・保守・管理を行っています。また、限定運転士として車両基地と印西牧の原駅間の回送電車の出入庫も担当しており、直接お客様と接する機会は少ないですが、「安全・安心な職場から、車両を介してお客様に安全・安心をお届けする」との想いで日々業務に励んでいます。その想いの実現のため、年間を通して研修や教習を実施し、技能や安全知識を高めると共に、作業前には朝礼・各職場での打合せ(KY ミーティング等)を行い、係員相互間のコミュニケーションを図る事で、安全に対する意識の高揚に努めております。

5-5 施設の安全対策

鉄道土木構造物の耐震補強工事

首都直下地震等の大規模地震に備え、全線の土 木構造物の耐震補強実施計画を策定し、2017 年度 は大町駅付近や矢切駅等の高架橋・トンネル中柱 の柱補強を行いました。また、橋りょう桁の落下防 止も実施し、2017 年度をもって、全線の鉄道土木 構造物の耐震補強工事は全て完了いたしました。

	2015(実績)	2016(実績)	2017(実績)
柱補強施工数	394本	498本	5 4 9本



大町~新鎌ヶ谷間高架橋

早期地震警報システム

2008 年より気象庁が発表する緊急地震速報を利用し、早期地震警報システム(初期微動から地震規模と到達時刻を予想し、本震が到達する前に列車を停止させるシステム)を導入し、地震による被害の抑制を図っております。



気象観測総合システム

気象観測計総合システム(地震計3カ所、風速計4カ所、雨量計3カ所、レール温度計は3カ所 (2016年度に1カ所増設))情報により、迅速かつ的確に把握して安全運行に役立てております。



5-6 その他の安全対策

鉄道テロ対策

駅構内及び列車内での不審物発見時における お客様への協力依頼の放送を行っているほか、駅 や車両基地等に防犯カメラを設置しております。 また、職員には警備腕章を、委託業者にはワッペンの着用を義務付けることで警備を強化し、テロの未然防止に取り組んでおります。



緊急時支援活動用ワッペン

職員が通勤及び私用などで当社線を利用しているとき、事故や災害などに遭遇した場合、急遽現場にて支援活動を行う際の目印として緊急時支援活動用ワッペンを全社員に配付しております。なお、このワッペンは常に携帯し、緊急時には胸元に貼り支援活動を行います。



乗務員の資質管理

全乗務員に対し、定期的に「知識」・「技能」・ 「適性」の確認を行い、乗務員としての資質管 理を行っております。また、乗務前にはアルコ ール検知器による検査を実施するとともに、対 面点呼を行い、体調管理等を徹底しておりま す。



写真記録付アルコール検知器による測定

安全啓発活動

「ほくそう春まつり」において「列車非常停止装置操作体験コーナー」を設け、ご来場された多くのお客様に列車非常停止装置のボタン操作を体験していただきました。

また、夏季の輸送安全総点検期間中に、かけ込み乗車防止の PR 文を入れたポケットティッシュを運輸司令員・乗務員が配布し、お客様へ協力を求めました。



列車非常停止装置操作体験



かけ込み乗車防止の PR

●社員の声●

運転課 運転区 斉藤 拓也



私たち乗務員は、常に運転士・車掌が一致協力し、安全輸送に努めています。

通過待ちの駅では通過監視を強化し、ホーム上のお客様の安全確保を行っています。

安全啓発活動や車内放送でホーム上や軌道上で異常の際に、「非常停止ボタン」を操作して頂き事故の未然防止にご協力をお願いしています。また、運転区内において、ヒヤリハット情報を共有し、ヒューマンエラーの防止を図り、これからも当社の乗務員として、更なるスキルを向上し、お客様に安全で安心して快適にご利用頂けるよう努めてまいります。

緊急車両

異常時、速やかに点検・復旧を行うため、緊急車両を保有しております。また、大規模災害等の発生時に通行禁止 区間等の走行が可能になる「緊急通行車両」の届出を行っております。



鉄道の安全を守る保守作業車



15 t 軌道モーターカー



25 t 積桁運搬車



20 t 軌道モーターカー



マルチプルタイタンパー

他社事故事例への対応

他社で発生した事故事例について、水平展開するとともに、速やかに当社の状況を確認 し、事故防止に努めております。また、運輸安全委員会から発表される事故等調査報告書 は、鉄道部門の全社員が確認し、情報を共有することで安全意識の向上を図っております。

6. 事故等の発生状況

2017年度の当社責任となる運転事故等(運転事故・輸送障害・インシデント) はありませんでした。今後も引き続き運転無事故事業者であるべく、安全を最優先に取り組んでまいります。

7. お客様へのお願い

輸送の安全・安定確保には、当社が積極的に取り組むことはもちろんですが、皆様のご理解やご協力も欠かせません。ご利用のお客様には、下記事項について、ご協力をお願いします。

1. かけ込み乗車はおやめください

列車の遅れの原因となるだけでなく、思わぬケガや事故にもつながります。 大変危険ですので、余裕をもったご乗車をお願いいたします。

2. ホームでは黄色い点状ブロックの内側をお歩きください

列車から降車されたお客様がホームを歩行中に転倒し、発車直後の列車に接触したり線路に転落する事故が当社でも発生しております。ホームでは列車から離れ、黄色い点状ブロックの内側をお歩きください。

3. 駅やホームでのながら歩きはおやめください

スマートフォン等の「ながら歩き」はお客様同士の接触やホームからの転落のお それがあり、大変危険ですのでおやめください。

4. 転倒、転落にご注意ください

ご高齢のお客様や酔ったお客様の階段、エスカレーターやコンコースでの転倒、ホームからの転落が発生しております。ホームからの転落を発見した場合は 直ちにお近くの非常停止ボタンを押して事故防止にご協力ください。 なお、非常停止ボタンが押された場合でも、決して線路には降りないでください。

5. 戸袋に手を引き込まれないようにご注意ください

ドアが開く際には、お子様の手やカバンなどが戸袋に引き込まれないようにご注意ください。

6. 不審物を発見した場合はお手を触れずにお知らせください

駅構内や車内で不審物等を発見された場合は、お手を触れずにお近くの駅係員または乗務員にお知らせください。

7. 線路内に立ち入らないでください

線路内は大変危険です。絶対に立ち入らないでください。

8. 迷惑行為防止のお願い

最近、車内でのお客様同士のトラブルが増加しています。すべてのお客様に快適 に電車をご利用いただくために、携帯電話のご使用方法やヘッドホンの音量をは じめ、車内のマナーをお守りくださいますようご協力をお願いいたします。

9. お声かけサポートのお願い

お困りになられている方をお見かけになられた場合は、お声かけにご協力をお願いいたします。

8. 当社の安全への取組みに対するご意見募集

当社の安全への取組みや本報告書に関するご意見等がありましたら、下記までお寄せください。

北総鉄道株式会社

ホームページ内ご意見フォームまで ホームページアドレス: http://www.hokuso-railway.co.jp



北総鉄道株式会社 Hokuso- Railway Co.,Ltd. 千葉ニュータウン鉄道株式会社

Chiba Newtown Railway Co.,Ltd.

編集·発行:北総鉄道株式会社 安全推進担当

平成 30 年 9 月発行